

2021年度決算の概要及び 2022年度業績予想の概要

三井化学株式会社

2022年5月13日

本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

目次

1. 2021年度決算の概要	
1) 主要関連指標動向	・・・1
2) 主な投資案件等の状況	・・・2
3) 決算の概要	・・・3-4
4) セグメント別 コア営業利益増減/事業動向変化	・・・5-8
5) 非経常項目の内訳	・・・9
6) 財政状態計算書	・・・10
7) キャッシュ・フロー計算書	・・・11
2. 2022年度業績予想の概要	
1) 業績予想の概要	・・・12-13
2) セグメント別 売上収益/コア営業利益の予想（対前年決算）	・・・14
3) セグメント別 コア営業利益増減/事業動向変化	・・・15-18
4) セグメント別コア営業利益推移	・・・19
5) 資源投入計画	・・・20
6) 株主還元	・・・21
7) キャッシュ・フロー計算書の予想	・・・22
3. 補助資料	・・・23-32

1. 2021年度決算の概要

1) 主要関連指標動向

関連指標		21年度決算			22年度予想 (前年比)		
		上期	下期	前年比			
自動車生産台数(世界) *				△2%	+10%		
	日本 北米 中国 ASEAN 欧州	・グローバルに部材不足の影響は長期化し、前年下期から生産台数は落ち込み 低水準で推移	・上期からは回復するもCOVID-19以前の水準には戻らず	    	グローバルに生産 回復 足元の世界情勢不安による影響懸念	    	
半導体市場*		需要堅調	需要堅調		+9%		
市況	フェノール				ビスフェノールAの海外市況は、需給環境軟化により 下落		
	ビスフェノールA	・ビスフェノールAの海外市況は、需給環境が逼迫し 高水準 で推移	・ビスフェノールAの海外市況は、上期からは 下落				
	アセトン	・アセトンは市況は 低水準					
	TDI	・TDI市況は前年を上回る水準					
	MDI	・MDI市況は 高水準					
クラッカー稼働率		高稼働	高稼働		高稼働		

* 外部機関参考による当社推定値

2) 主な投資案件等の状況

投資案件(一部)		時期	能力	FY20	FY21	FY22	FY23以降
モビリティ	PPコンパウンド新拠点設立@Netherland	20年6月	30KT	▶			
	PPコンパウンド能力増強@Thailand	20年9月	13KT	▶			
	ガラス長繊維強化PP新設@China	21年4月	3.5KT	▶			
	アベル®新プラント@Japan	22年3月(完工)	+50%	▶			
	タフマー能力増強@Singapore	21年4月	25KT	▶			
	EUUVペリクル新設備@Japan	21年4月	-	▶			
	ルーカント新拠点@Japan	21年4月	20KT	▶			
	ARRK社完全子会社化	20年8月	-	▶			
ヘルスケア	松風業務・資本提携強化	20年5月	-	▶			
	超撥水・反射防止コーティング材 COTEC®社買収	20年10月	-	▶			
	テクノロート®能力増強@Japan	20年11月	1 Line	▶			
	整形外科領域 日本エム・ディ・エム資本・業務提携	22年1月	-	▶			
	メガネレンズモノマー能力増強@Japan	23年10月	-	▶			
フード & パッケージング	DIC化工買収	20年12月	13KT	▶			
	イクロステーブ®能力増強@Taiwan	23年10月	380万㎡	▶			
	農業事業買収	22年1月	-	▶			
基盤素材	α-メチルスチレン設備@Singapore	20年5月	20KT	▶			
	大阪工場 ガスタービン新設備@Japan	20年12月	30MW	▶			
	市原工場 高純度プロピレン能力増強@Japan	20年12月	-	▶			
	本州化学工業 連結子会社化	21年10月以降	-	▶			
	ポリウレタン事業 合併解消	21年12月	-	▶			
	錦湖三井化学 MDI能力増強@Korea	24年1月	200KT	▶			
	高機能PP新設備@Japan	24年11月	200KT	▶			
最適化・再構築	高純度テレフタル酸(PTA)生産停止@Japan	23年8月	400KT	▶ 生産停止			

21年度 商業運転開始プラント等

21年度 意思決定案件等

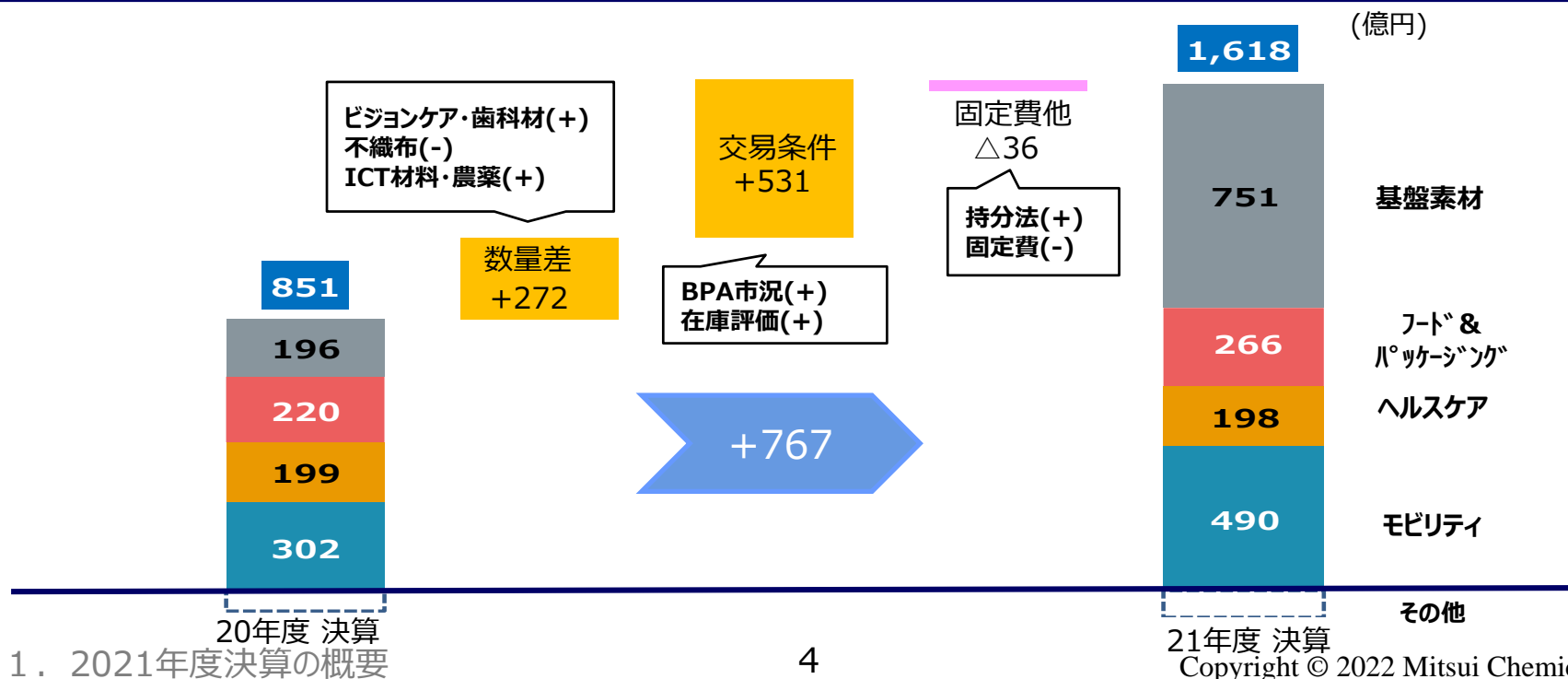
3-1) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	20年度	21年度	増減	増減率
売上収益	12,117	16,127	4,010	33%
コア営業利益	851	1,618	767	90%
(うち、持分法による投資損益)	60	258	198	330%
非経常項目	△ 70	△ 145	△ 75	-
営業利益	781	1,473	692	89%
金融収益・費用	△ 39	△ 60	△ 21	-
税引前四半期利益	742	1,413	671	90%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	579	1,100	521	90%
為替レート(円/US\$)	106	112	+ 6	
国産ナフサ(円/KL)	31,300	56,600	+ 25,300	

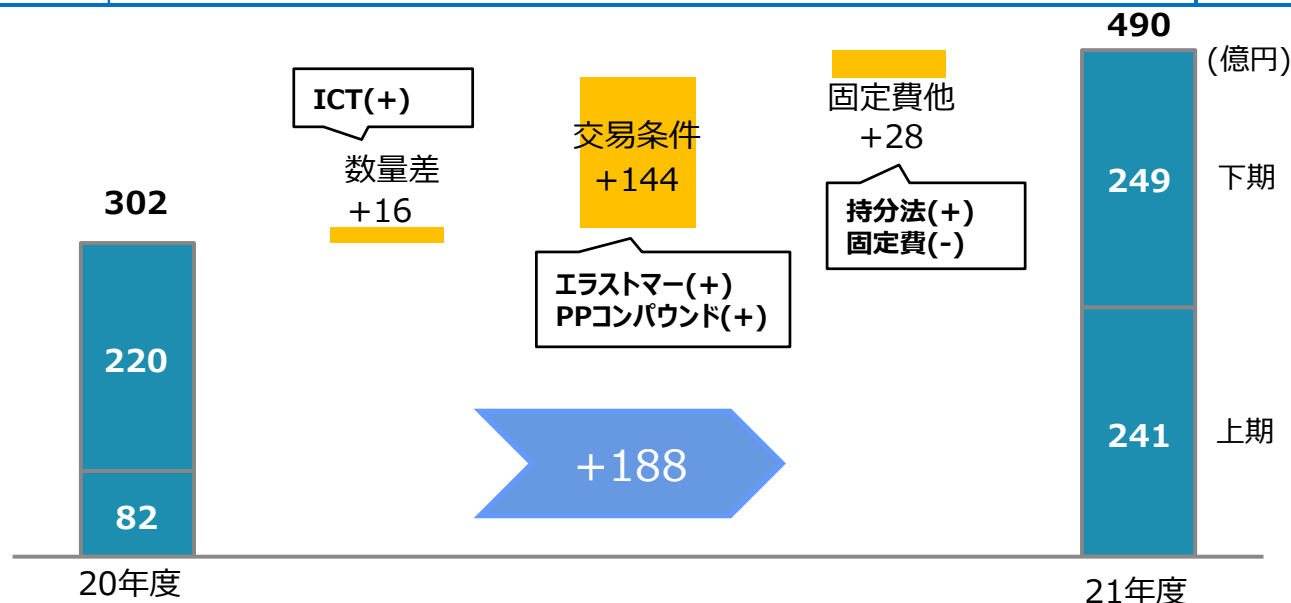
3-2) 決算の概要 (コア営業利益)

- ①各セグメントCOVID-19の影響からの需要回復に伴い販売は大きく回復。
一方、不織布はCOVID-19による品薄状況の解消により販売は減少。
- ②自動車関連用途は部材不足の影響が長期化し、販売数量は前年並み。
- ③ICT関連材料、農薬は引続き販売堅調。
- ④ビスフェノールAの海外市況は、需給環境が逼迫し高水準で推移。
- ⑤20年度上期の原料価格急落に伴う在庫評価損(含むフォーミュラ期ずれ影響)の解消、
及び21年度の原料価格上昇に伴う在庫評価益。
- ⑥需要回復による増販及び市況改善に伴い持分法投資損益の改善。






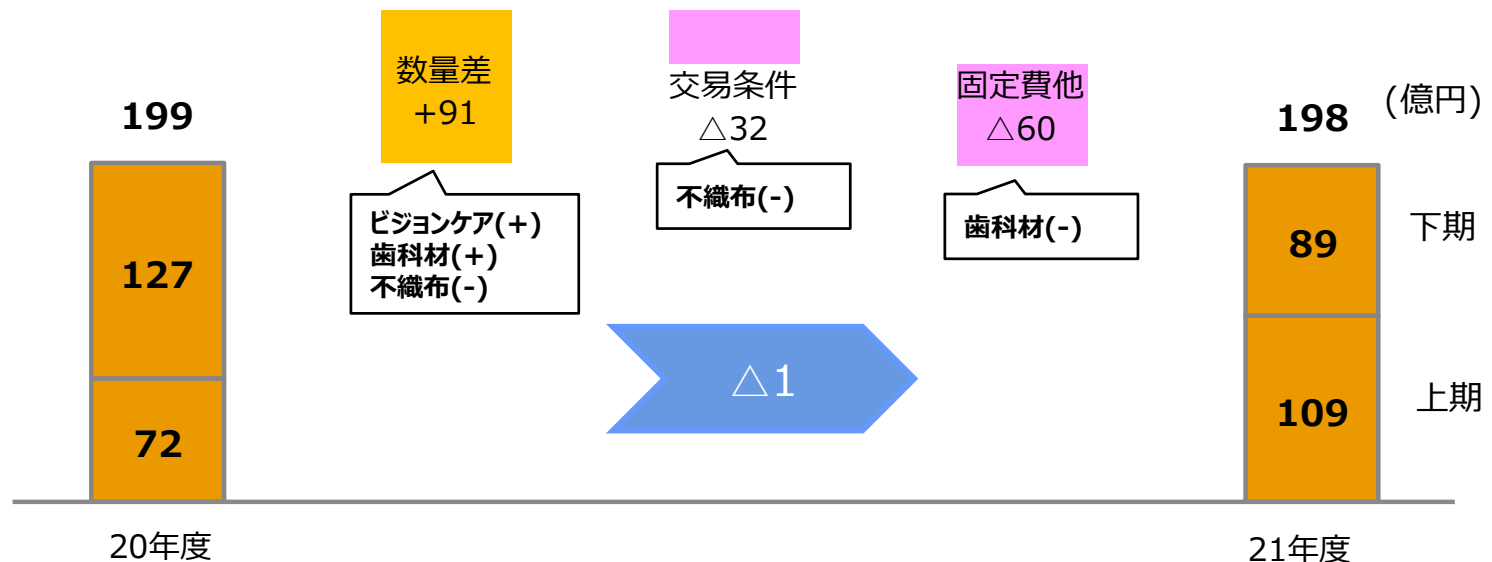
4-1) モビリティ:コア営業利益増減/事業動向変化

	21年度決算/コア営業利益方向感	主要増減要因
PPコンパウンド エラストマー 機能性コンパウンド	<ul style="list-style-type: none"> 21年度の部材不足に伴う自動車生産台数減少の影響を受け、販売は前年並みで推移 価格改定及び高付加価値品へのシフトによる交易改善 持分法投資損益の改善 新設プラント稼働により固定費増(タフマー®、ルーカント®) 	交易条件(+) 持分法(+) 固定費(-)
機能性ポリマー	<ul style="list-style-type: none"> ICT関連材料の販売は堅調に推移 新設プラント稼働により固定費増(EUVペリクル) 	数量(+) 固定費(-)
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> 展示会の中止等による試作案件の受注減 	-






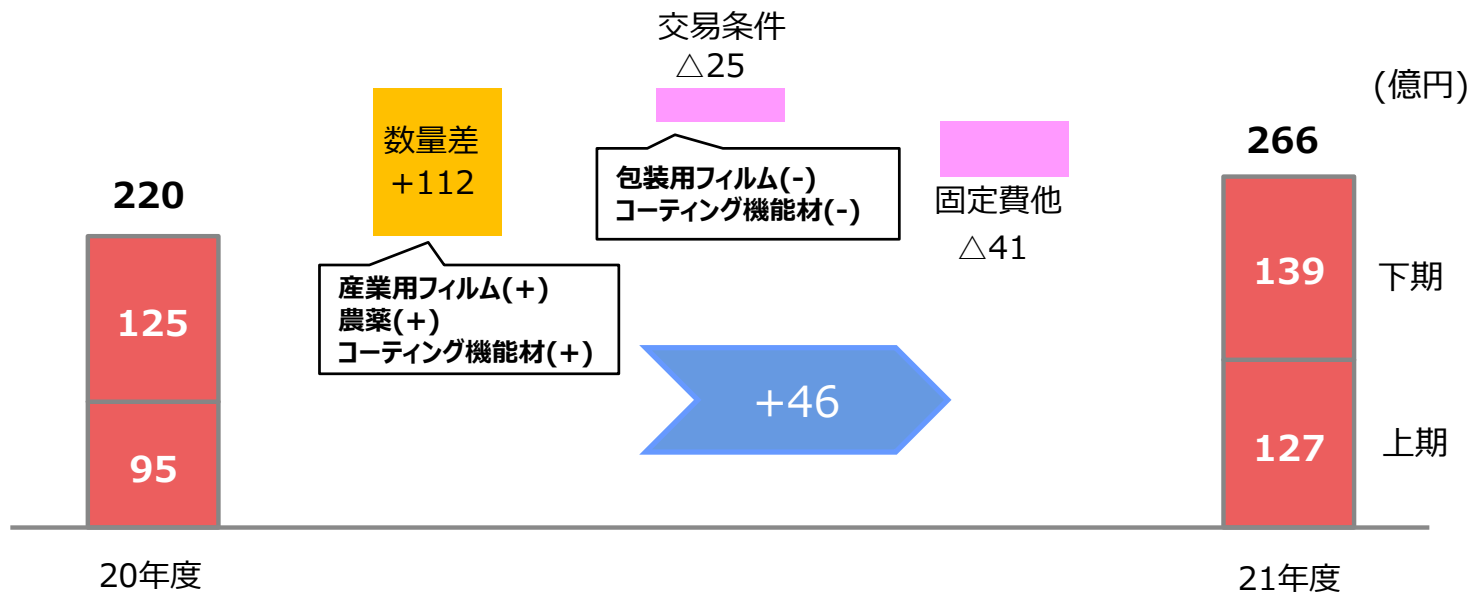
4-2) ヘルスケア:コア営業利益増減/事業動向変化

	21年度決算/コア営業利益方向感	主要増減要因
ビジョンケア	 ・需要回復に伴い販売は堅調に推移	数量(+)
不織布	 ・COVID-19による品薄状況は解消 ・原料価格上昇に伴う交易悪化	数量(-) 交易条件(-)
歯科材	 ・需要回復に伴い販売は堅調に推移 ・販売回復に伴う固定費増	数量(+) 固定費(-)



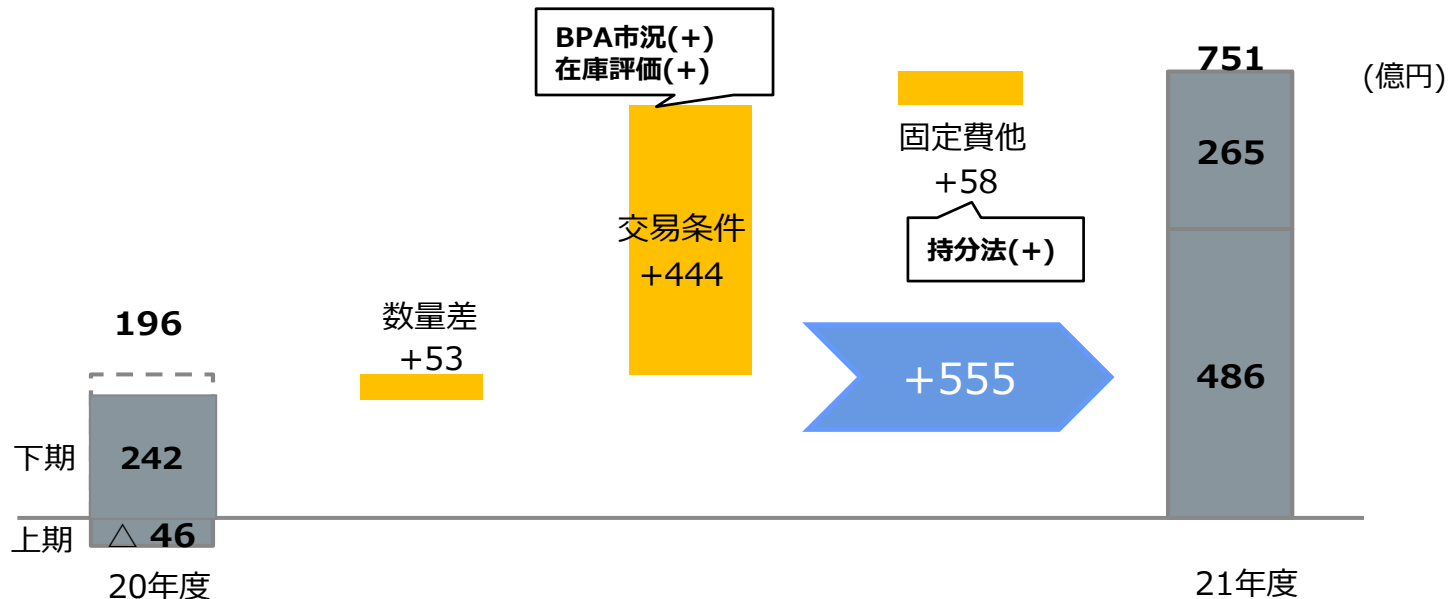
4-3) フード&パッケージング:コア営業利益増減/事業動向変化

	21年度決算/コア営業利益方向感	主要増減要因
包装用フィルム	 <ul style="list-style-type: none"> ・販売は堅調に推移 ・原料価格上昇に伴う交易悪化 	交易条件(-)
産業用フィルム	 <ul style="list-style-type: none"> ・半導体需要増に伴い販売は堅調に推移 	数量(+)
農薬	 <ul style="list-style-type: none"> ・海外向けの販売は増加 	数量(+) 固定費(-)



4-4) 基盤素材:コア営業利益増減/事業動向変化

	21年度決算/コア営業利益方向感	主要増減要因
石化	<ul style="list-style-type: none"> 原料価格上昇に伴う在庫評価益(含むフォーミュラ期ずれ) クラッカーは高稼働で推移 	在庫(+)
基礎化	<ul style="list-style-type: none"> 需要回復に伴い販売増 ビスフェノールAの海外市況は、需給環境が逼迫し高水準で推移 	数量(+) 交易条件(+) 持分法(+)
ウレタン	<ul style="list-style-type: none"> 市況改善に伴い持分法投資損益改善 	持分法(+)



5) 非経常項目の内訳

(単位：億円)

摘 要	20年度	21年度	増減
固定資産処分・売却損益	△ 7	△ 14	△ 7
減 損 損 失	△ 81	△ 162	△ 81
そ の 他	18	31	13
非経常項目 合計	△ 70	△ 145	△ 75

6) 財政状態計算書

(単位：億円)

摘要	21年3月末	22年3月末	増減	摘要	21年3月末	22年3月末	増減
流動資産	(7,876)	(10,335)	(2,459)	負債	(8,760)	(11,279)	(2,519)
現金及び 現金同等物	1,960	1,812	△ 148	営業債務	1,197	1,748	551
営業債権	2,858	3,704	846	有利子負債	5,638	7,151	1,513
棚卸資産	2,588	3,690	1,102	その他	1,925	2,380	455
その他	470	1,129	659	資本	(6,821)	(8,071)	(1,250)
非流動資産	(7,705)	(9,015)	(1,310)	親会社の所有者に 帰属する持分	6,079	7,127	1,048
有形固定資産及び 使用権資産	5,020	5,536	516	非支配持分	742	944	202
のれん及び 無形資産	208	633	425				
非流動の その他の資産	2,477	2,846	369				
合計	15,581	19,350	3,769	合計	15,581	19,350	3,769

7) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	20年度	21年度	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	1,743	926	△ 817
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 775	△ 2,052	△ 1,277
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	968	△ 1,126	△ 2,094
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 690	892	1,582
IV. その他	36	86	50
現預金等増減	314	△ 148	△ 462

2. 2022年度業績予想の概要

22年度よりセグメントを変更しております。
新セグメントに基づく21年度以前の決算値は、22年度業績予想との比較を目的に作成した概算値です。

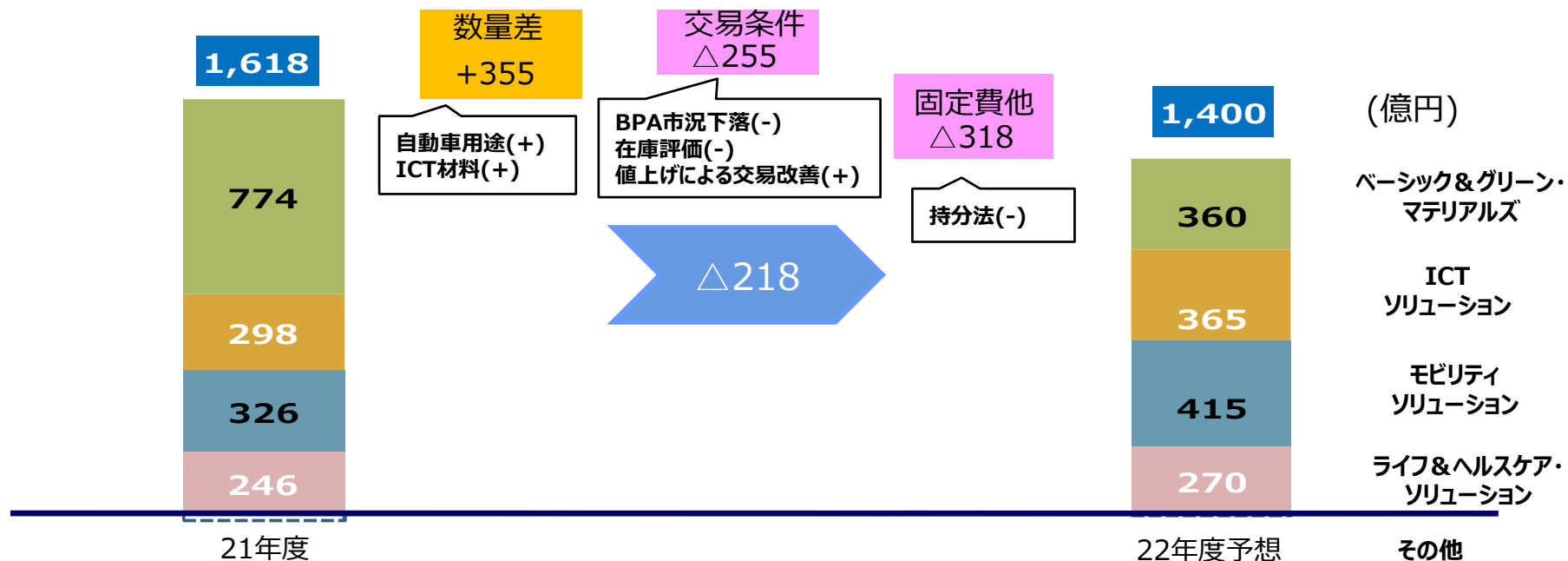
1 - 1) 業績予想の概要

(単位：億円)

摘 要	21年度決算	22年度予想	増減	
売上収益	16,127	19,200	3,073	19%
コア営業利益	1,618	1,400	△ 218	△13%
非経常項目	△ 145	△ 20	125	—
営業利益	1,473	1,380	△ 93	△6%
金融収益・費用	△ 60	△ 50	10	—
税引前利益	1,413	1,330	△ 83	△6%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,100	1,000	△ 100	△9%
為替レート(円/US\$)	112	120	+ 8	
国産ナフサ(円/KL)	56,600	75,000	+ 18,400	

1 - 2) 業績予想の概要 (コア営業利益)

- ①ビジョンケア、農薬、オーラルケアは引続き販売堅調を見込む。
- ②自動車用途関連は生産台数の回復を見込む。
- ③ICT関連材料は引続き販売堅調を見込む。
- ④ビスフェノールAの海外市況下落及び21年度の在庫評価益(含むフォーミュラ期ずれ影響)の解消。
- ⑤原料価格上昇に伴う価格改定や高付加価値品へのシフトにより交易条件の確保。
- ⑥VISION2030に掲げた基本戦略推進に向けた資源投入、及び資材費高騰による修繕費等のコスト増加。(新事業・新製品開発の加速、DX、CE、CN等)



2) セグメント別 売上収益/コア営業利益の予想 (対前年決算)

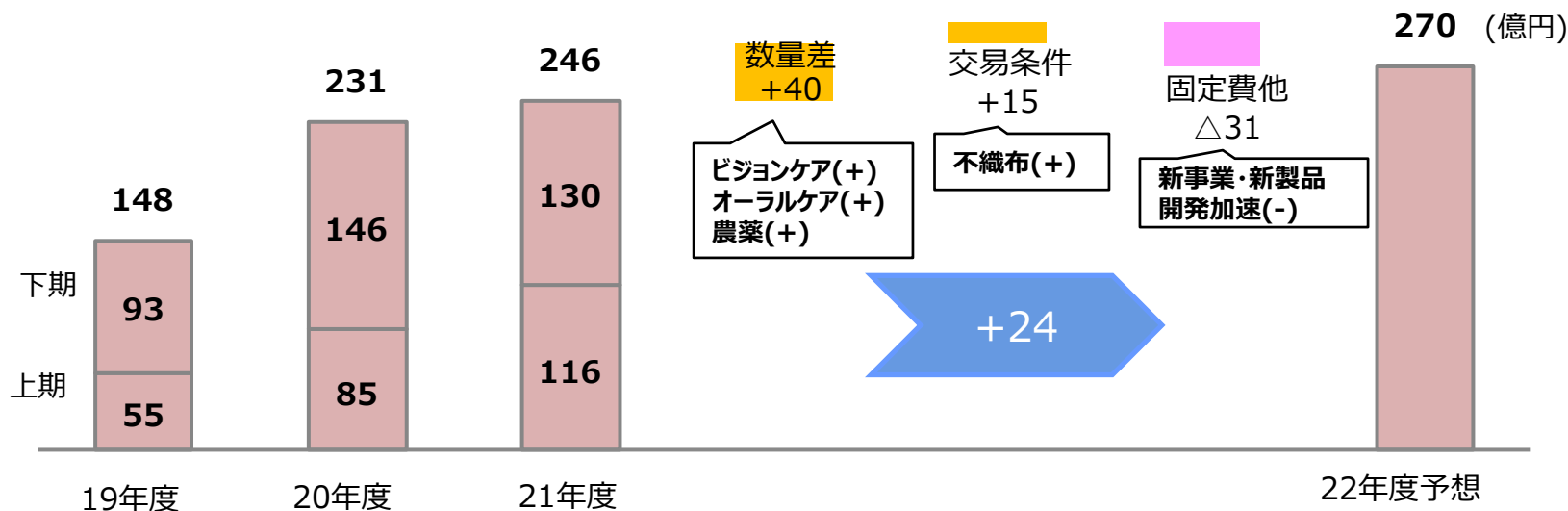
(単位：億円)

セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳		
	21年度決算	22年度予想	増減	21年度決算	22年度予想	増減	数量差	交易条件	固定費他
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	2,252	2,460	208	246	270	24	40	15	△ 31
モビリティソリューション	4,327	5,380	1,053	326	415	89	150	45	△ 106
ICTソリューション	2,071	2,440	369	298	365	67	95	55	△ 83
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	7,371	8,790	1,419	774	360	△ 414	70	△ 370	△ 114
その他	106	130	24	△ 26	△ 10	16	-	-	16
合計	16,127	19,200	3,073	1,618	1,400	△ 218	355	△ 255	△ 318
成長領域*	8,650	10,280	1,630	870	1,050	180			

*ライフ&ヘルスケア、モビリティ、ICT

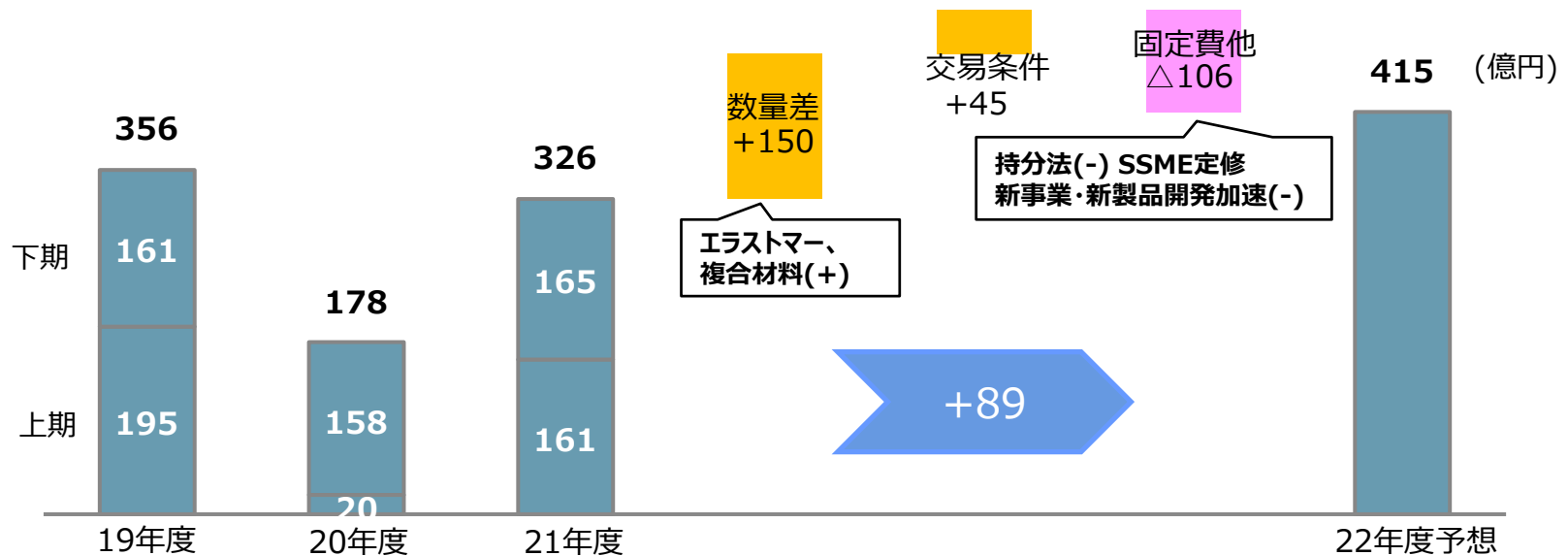
3-1) ライフ&ヘルスケア・ソリューション:コア営業利益増減/事業動向変化

	22年度予想コア営業利益方向感	主要増減要因
ビジョンケア	→ ・販売は堅調に推移	数量(+)
不織布	→ ・価格改定による交易改善	交易条件(+)
オーラルケア	→ ・販売は堅調に推移	数量(+) 固定費(-)
農薬	→ ・販売は堅調に推移	数量(+) 固定費(-)





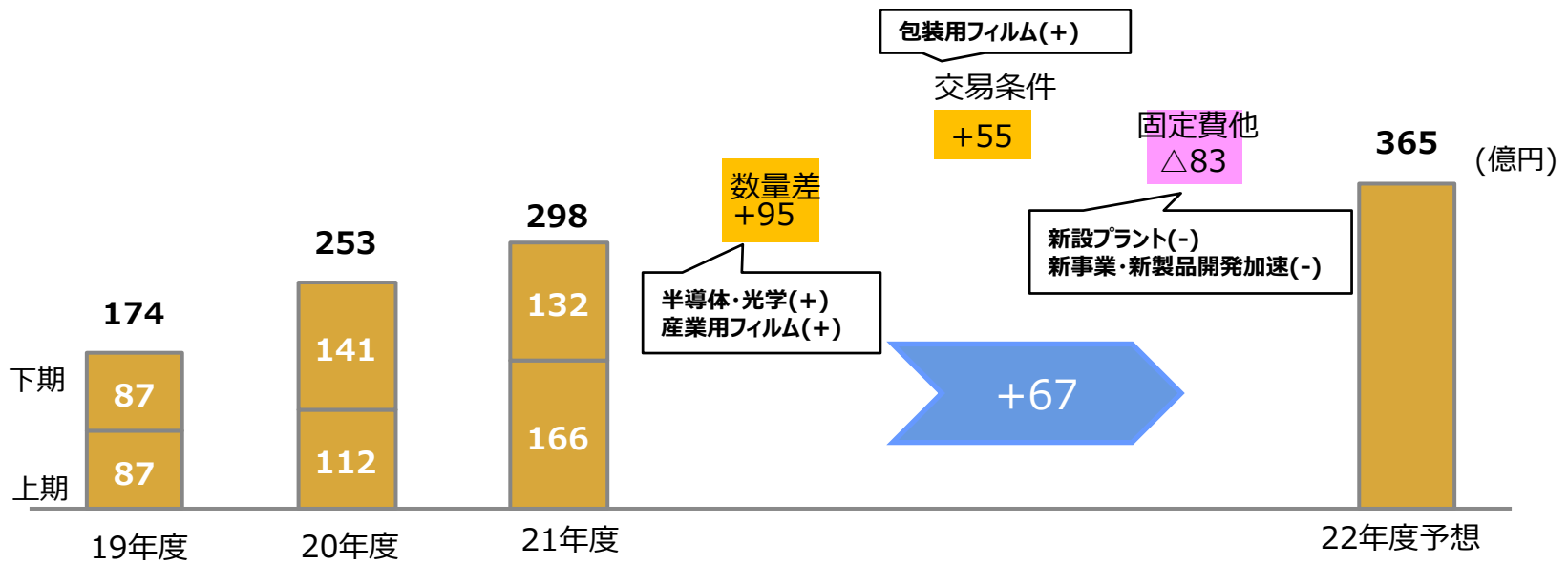
3-2) モビリティソリューション:コア営業利益増減/事業動向変化

	22年度予想コア営業利益方向感	主要増減要因
エラストマー	<ul style="list-style-type: none"> 自動車用途回復、太陽電池封止材等の需要堅調に伴う販売増 価格改定及び高付加価値品へのシフトによる交易改善 	数量(+) 交易条件(+) 持分法(-) 固定費(-)
複合材料 (PPコンパウンド 機能性コンパウンド)	<ul style="list-style-type: none"> 自動車生産台数回復に伴う販売増 価格改定による交易改善 	数量(+) 交易条件(+) 固定費(-)
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> 受注回復に伴う販売増 	数量(+) 固定費(-)






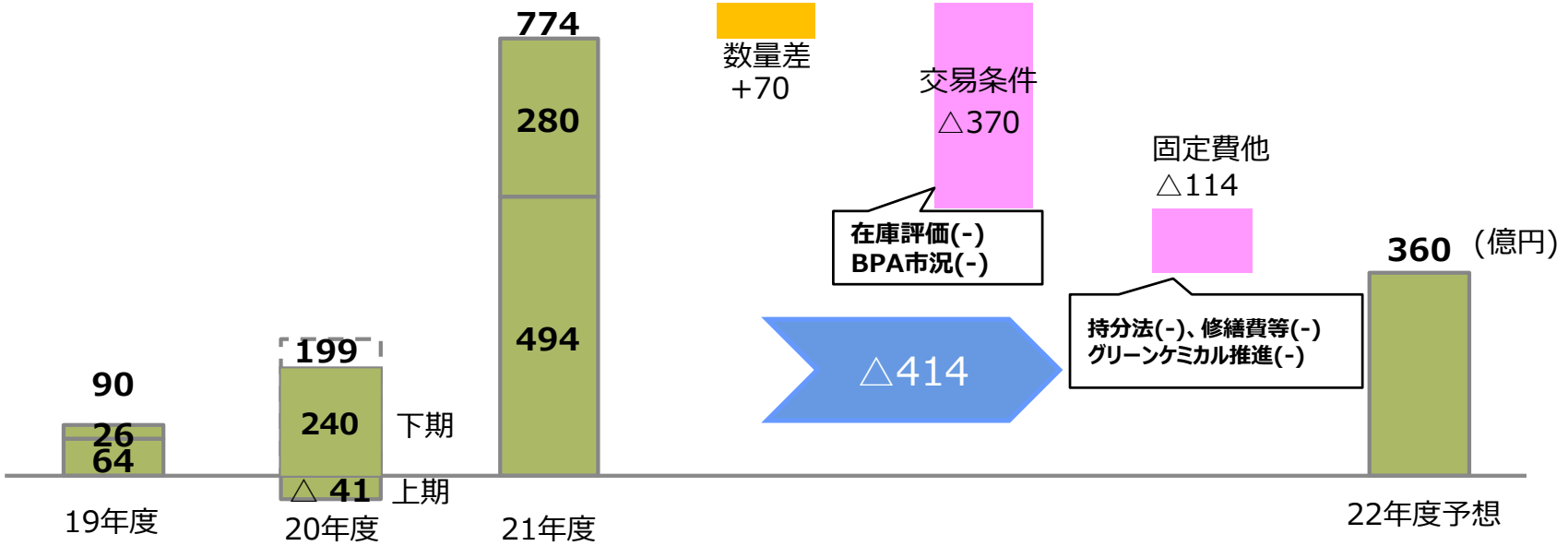
3-3) ICTソリューション:コア営業利益増減/事業動向変化

	22年度予想コア営業利益方向感	主要増減要因
半導体・光学	 <ul style="list-style-type: none"> ・販売は堅調に推移 ・新設プラント稼働による固定費増(アペル®) 	数量(+) 固定費(-)
産業用フィルム	 <ul style="list-style-type: none"> ・販売は堅調に推移 	数量(+)

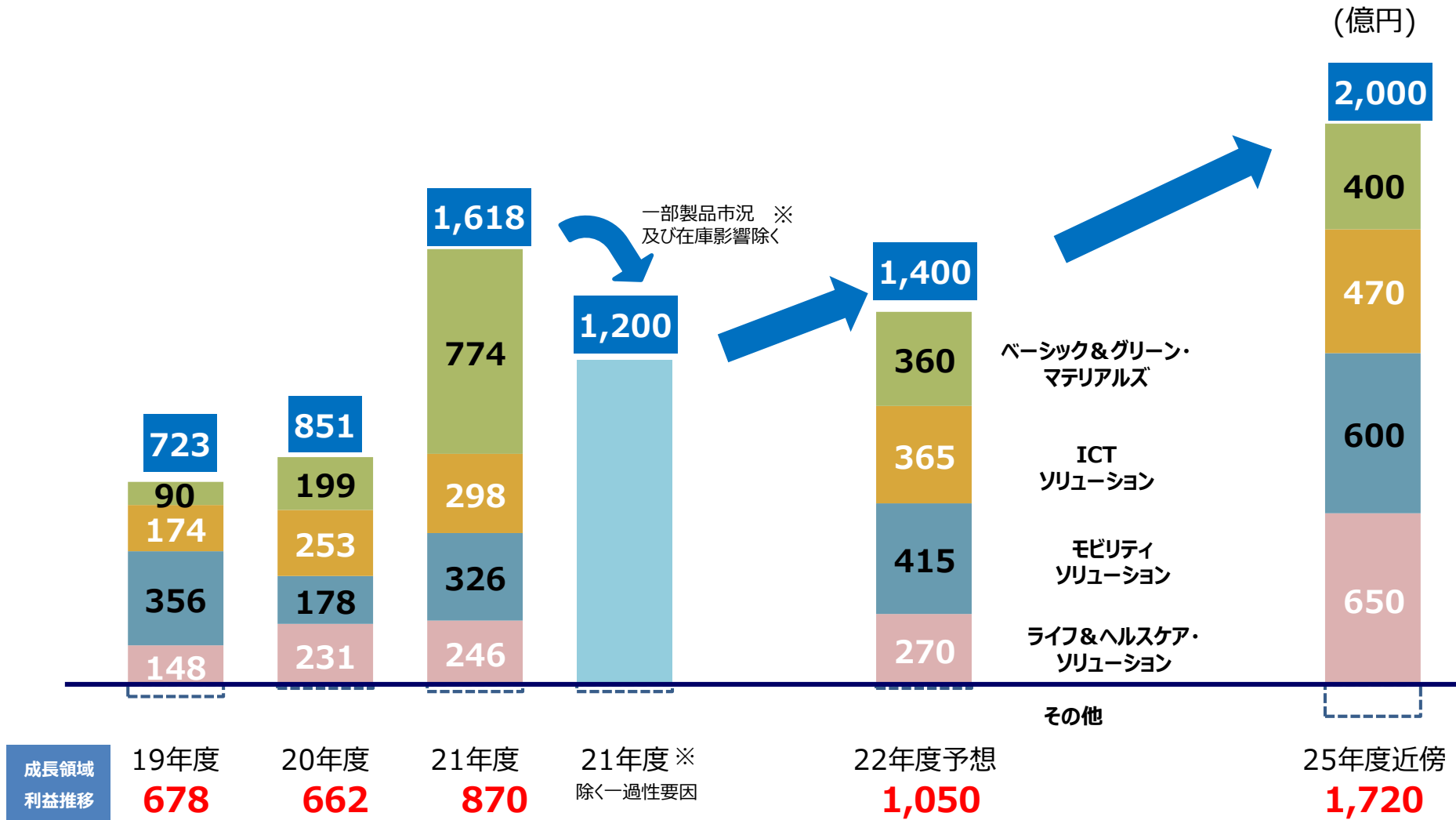


3-4) ベーシック&グリーン・マテリアルズ:コア営業利益増減/事業動向変化

	22年度予想コア営業利益方向感	主要増減要因
石化	 <ul style="list-style-type: none"> 原料価格上昇に伴う在庫評価益の解消 (含むフォーミュラ期ずれ) 	在庫(-) 固定費(-)
基礎化	 <ul style="list-style-type: none"> ビスフェノールAの海外市況は、需給軟化により下落 持分法投資損益の悪化 	数量(+) 交易条件(-) 持分法(-) 固定費(-)
ウレタン	 <ul style="list-style-type: none"> 持分法投資損益の改善 	持分法(+)

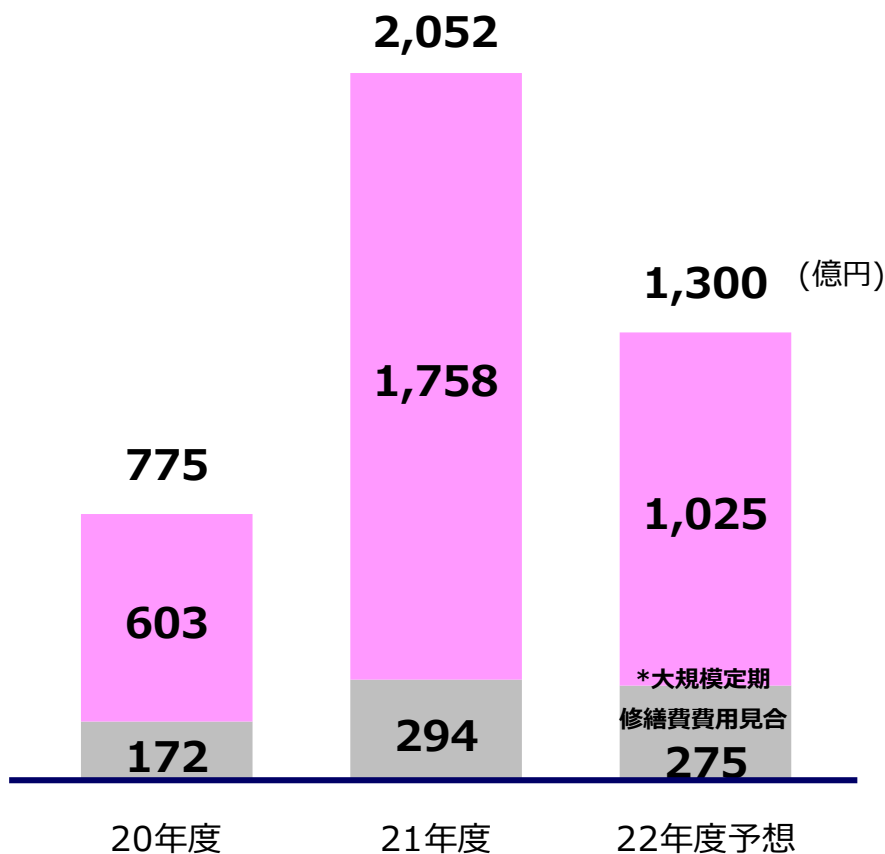


4) セグメント別コア営業利益推移



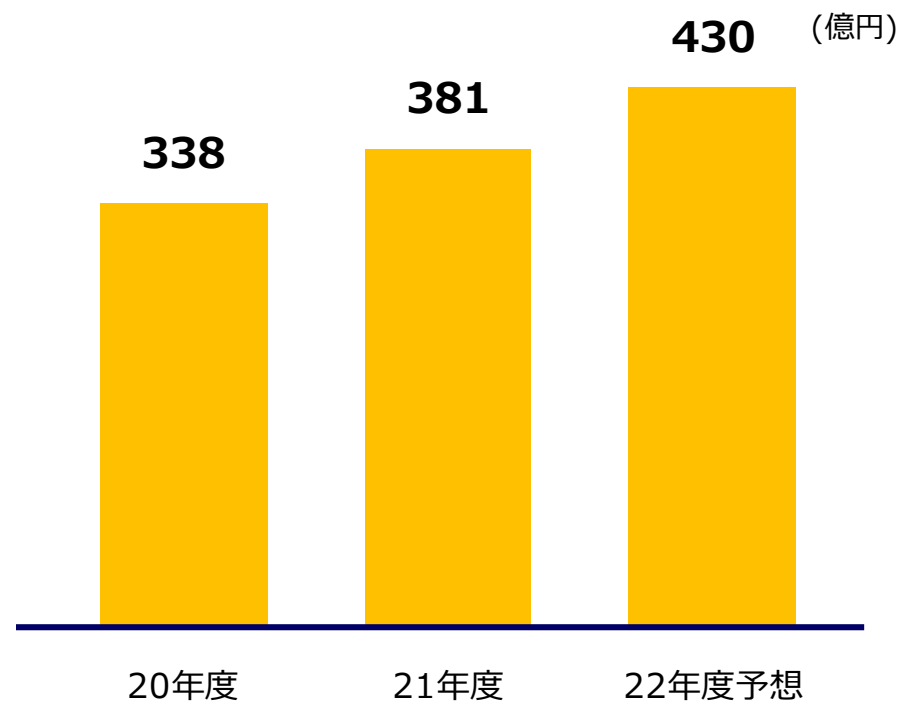
5) 資源投入計画

投融資



*IFRS適用に伴い有形固定資産として認識

研究開発費



6) 株主還元

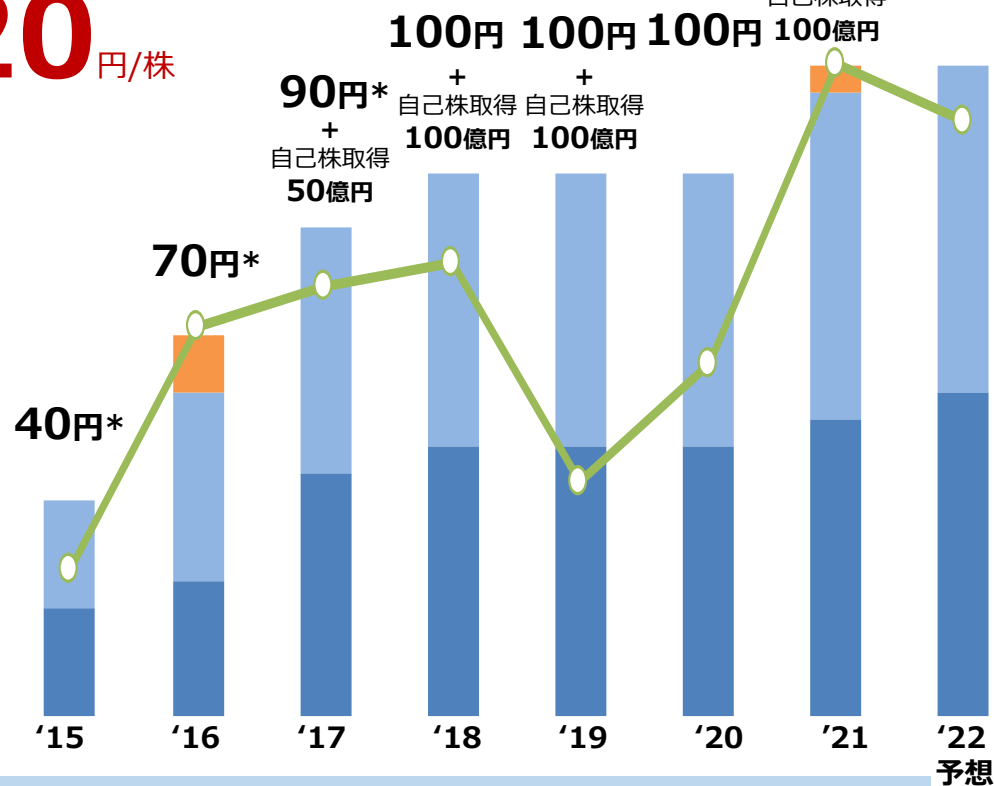
● 22年度配当予想

中間
期末
年間

60 円/株 + **60** 円/株 = **120** 円/株

■ 中間配当
■ 期末配当
■ 特別配当
— 当期純利益

特別配当
5円
 +
115円
 +
 自己株取得
100億円
120円



DOE	2.1%	3.1%	3.5%	3.6%	3.7%	3.2%	3.3%
総還元性向	35%	22%	32%	39%	77%	34%	30%

*株式併合後の株式数を基に修正

- ✓ DOE 3.0%以上を目指す
- ✓ 安定的かつ継続的な配当
- ✓ 機動的かつ柔軟な自己株式取得
- ✓ 総還元性向 30%以上

7) キャッシュ・フロー計算書の予想

(単位：億円)

摘 要	21年度決算	22年度予想	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	926	930	4
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 2,052	△ 1,300	752
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	△ 1,126	△ 370	756
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	892	290	△ 602
IV. その他	86	0	△ 86
現預金等増減	△ 148	△ 80	68

3. 補助資料

- 1) 製品価格の状況
- 2) セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳（対前年決算）
- 3) 売上収益の増減概要
- 4) セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳（四半期別）
- 5) 新セグメント情報
- 6) 組替後セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳（四半期別）
- 7) データハイライト

1) 製品価格の状況

(PE国内、PP国内、PH国内、BPA国内：国内価格改定幅)

年		2019年			2020年			2021年				2022年	
月		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
国産標準 ナガ価格	(円/KL)	45,400	40,200	41,300	44,800	24,900	30,200	31,300	38,800	47,700	53,500	60,700	64,600
PE国内	(円/KG)	+10円 程度	→	△10円 程度	+10円 程度	△30円 程度	→	→	+20円 程度	→	+10円 程度	+30円 程度	+30円 程度
PP国内	(円/KG)	+10円 程度	→	△10円 程度	+10円 程度	△30円 程度	→	→	+20円 程度	→	+10円 程度	+30円 程度	+30円 程度
PH国内 (フォーム価格)	(円/KG)	→	→	+10円	→	→	→	→	→	→	→	→	→
BZ (*ACP)	(\$/T)	\$620	\$660	\$680	\$700	\$360	\$440	\$490	\$720	\$930	\$1,030	\$970	\$1,030
BPA国内	(円/KG)	△15円 (4月~)	→	→	+5円 (1月~)	△15円 (6月~)	→	→	→	+60円 (4月~)	+35円 (9月~)	→	+20円 (3月~)
BZ/BPA市況をベースに都度交渉													
BPA 中国市況	(\$/T)	\$1,410	\$1,190	\$1,210	\$1,310	\$1,210	\$1,290	\$1,990	\$2,630	\$3,230	\$3,320	\$2,480	\$2,340
PTA 中国市況	(\$/T)	\$790	\$700	\$620	\$560	\$420	\$440	\$450	\$600	\$660	\$710	\$700	\$830
PX (*ACP)	(\$/T)	\$910	\$810	\$800	\$710	\$500	\$550	\$560	\$770	\$860	\$920	\$890	\$1,090
TDI 中国市況	(\$/T)	\$1,790	\$1,610	\$1,500	\$1,430	\$1,330	\$1,580	\$2,330	\$2,150	\$2,040	\$1,900	\$2,200	\$2,510

* ACP アジア圏契約価格

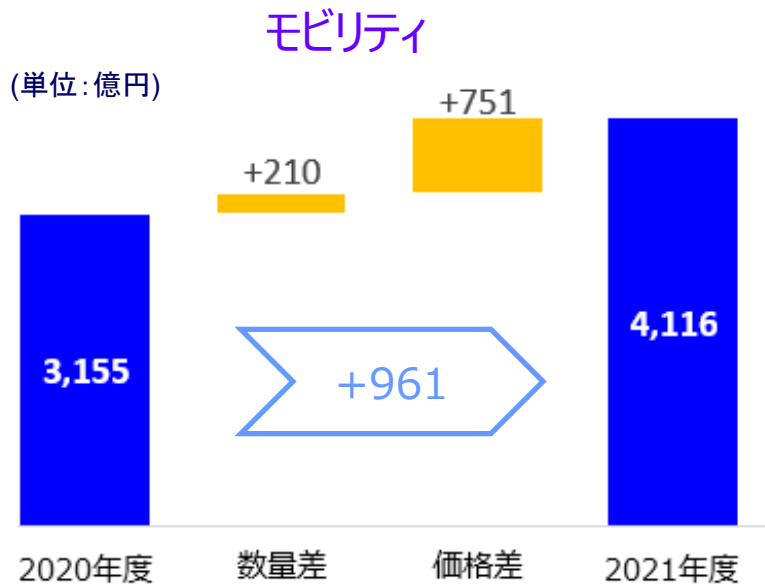
2) セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳 (対前年決算)

(単位：億円)

セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳		
	20年度	21年度	増減	20年度	21年度	増減	数量差	交易条件	固定費他
モビリティ	3,155	4,116	961	302	490	188	16	144	28
ヘルスケア	1,439	1,646	207	199	198	△ 1	91	△ 32	△ 60
フード & パッケージング	1,977	2,352	375	220	266	46	112	△ 25	△ 41
基盤素材	5,414	7,863	2,449	196	751	555	53	444	58
その他	132	150	18	△ 66	△ 87	△ 21	-	-	△ 21
合計	12,117	16,127	4,010	851	1,618	767	272	531	△ 36
成長3領域*	6,571	8,114	1,543	721	954	233			

*モビリティ、ヘルスケア、フード&パッケージング

3-1) 売上収益の増減概要

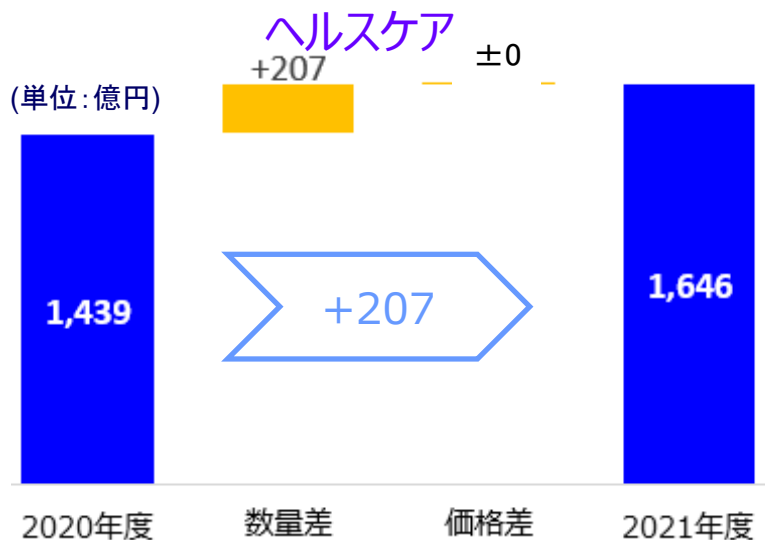


◆数量差 +210億円

- ・エラストマー、機能性コンパウンド、海外PPコンパウンドの販売は堅調。
- ・ICT関連の需要に的確に対応。

◆価格差 +751億円

- ・原料価格上昇による価格改定等。



◆数量差 +207億円

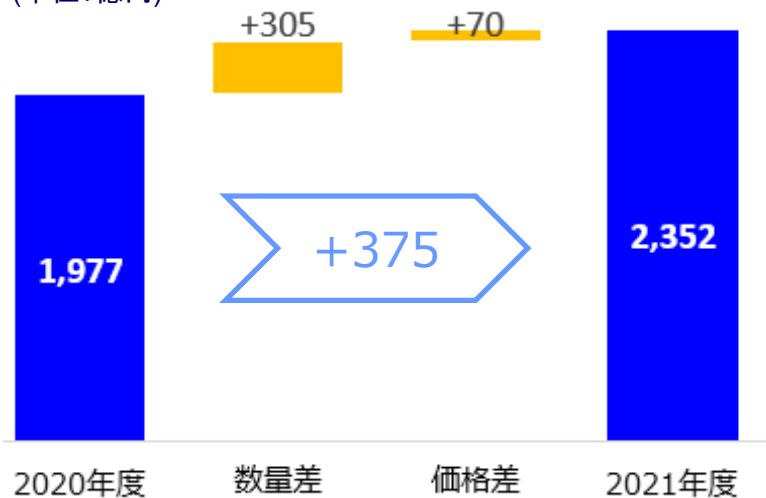
- ・ビジョンケア材料、歯科材料は販売堅調。
- ・不織布は、COVID-19による品薄状況解消により販売減少。

◆価格差 ±0億円

3-2) 売上収益の増減概要

フード&パッケージング

(単位: 億円)



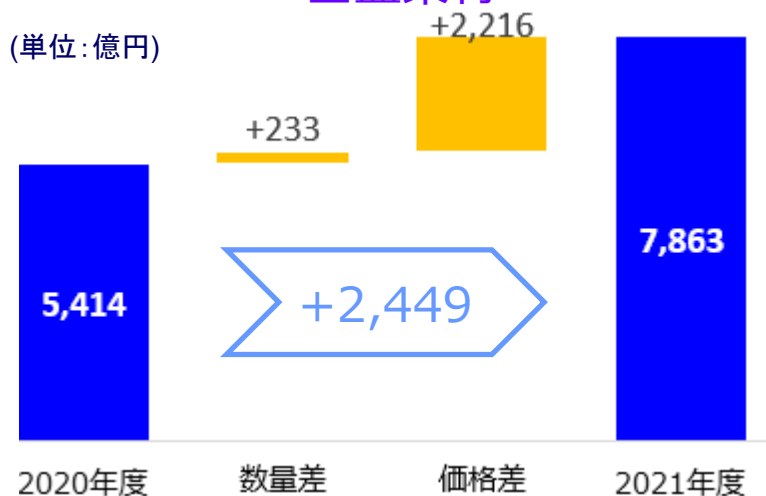
◆数量差 +305億円

- ・産業用フィルム及び農薬は販売堅調。
- ・コーティング機能材は需要回復に伴い販売堅調。

◆価格差 +70億円

基盤素材

(単位: 億円)



◆数量差 +233億円

- ・需要回復に伴いポリプロピレンを中心に販売堅調。

◆価格差 +2,216億円

- ・海外市況上昇。
- ・原料価格上昇による価格改定。

4) セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳 (四半期別)

(単位：億円)

セグメント	売上収益							
	20年度				21年度			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
モビリティ	583	737	888	947	964	947	1,058	1,147
ヘルスケア	289	371	397	382	412	397	432	405
フード&パッケージング	454	442	497	584	535	535	588	694
基盤素材	1,186	1,240	1,392	1,596	1,762	1,812	2,099	2,190
その他	33	35	30	34	33	38	39	40
合計	2,545	2,825	3,204	3,543	3,706	3,729	4,216	4,476

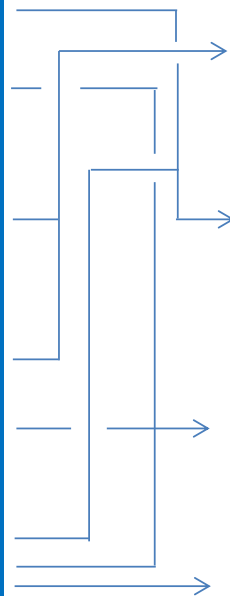
(単位：億円)

セグメント	コア営業利益							
	20年度				21年度			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
モビリティ	23	59	113	107	134	107	118	131
ヘルスケア	14	58	76	51	60	49	57	32
フード&パッケージング	44	51	57	68	70	57	72	67
基盤素材	△ 63	17	99	143	267	219	171	94
その他	△ 12	△ 5	△ 9	△ 40	△ 12	△ 8	△ 18	△ 49
合計	6	180	336	329	519	424	400	275

5-1) 新セグメント情報



(単位：億円)

21年度決算 組替前		
セグメント	売上収益	コア営業利益
モビリティ	4,116	490
ヘルスケア	1,646	198
フード & パッケージング	2,352	266
基盤素材	7,863	751
その他	150	△ 87
合計	16,127	1,618



21年度決算 組替後			
セグメント	事業分野	売上収益	コア営業利益
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	ビジョンケア、パーソナルケア、不織布、オーラルケア、農薬、医療事業推進室	2,252	246
モビリティソリューション	エラストマー重合、複合材料、ソリューション事業 モビリティソリューション推進室	4,327	326
ICTソリューション	半導体・光学コーティング・機能材、機能性フィルム・シート ICT材料事業推進室	2,071	298
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	フェノール、PTA・PET、工業用ケミカルズ、サステナブル・フィードストック、ポリオレフィン、ライセンス、ポリウレタン材料 グリーンケミカル事業推進室	7,371	774
その他	-	106	△ 26
合計	-	16,127	1,618

5-2) 新セグメント情報

セグメント	事業分野	主な製品等
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	ビジョンケア、パーソナルケア、不織布、オーラルケア、農薬、医療事業推進室	プラスチックメガネレンズ材料（MR™、Do Green™）、 メディカル材料（タウリン）、 不織布（シンテックス®、エアリア®、テクノロート®）、 オーラルケア材料（充填材料、接着材料、デジタル機器）、 農薬（ジノテフラン、テネベナール®）
モビリティソリューション	エラストマー重合、複合材料、ソリューション事業、モビリティソリューション事業推進室	タフマー®、三井EPT™、ルーカント®、 PPコンパウンド、機能性コンパウンド（アドマー®、ミラストマー®、アーレン®）  
ICTソリューション	半導体・光学、コーティング機能材、機能性フィルム・シート、ICT材料事業推進室	三井ペリクル™（ArF、KrF、EUV）、アペル®、TPX®、半導体用ガス 高機能食品包装材料（シーラント、接着剤、コート剤、環境対応包材）、 産業用フィルム（イクロステープ®、SP-PET™）、包装用フィルム（T.U.X®）
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	フェノール、PTA・PET、インダストリアルケミカルズ、サステナブル・フィードストック、ポリオレフィン、ライセンス、ポリウレタン材料 グリーンケミカル事業推進室	フェノール、ビスフェノールA、アセトン、PTA、PET、 EO、ハイドロキノン、アンモニア、排ガス低減剤（アドブルー®*）、 ポリオレフィン、TDI、MDI *アドブルーはドイツ自動車工業会の登録商標です。

6) 組替後セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳 (四半期別)

(単位：億円)

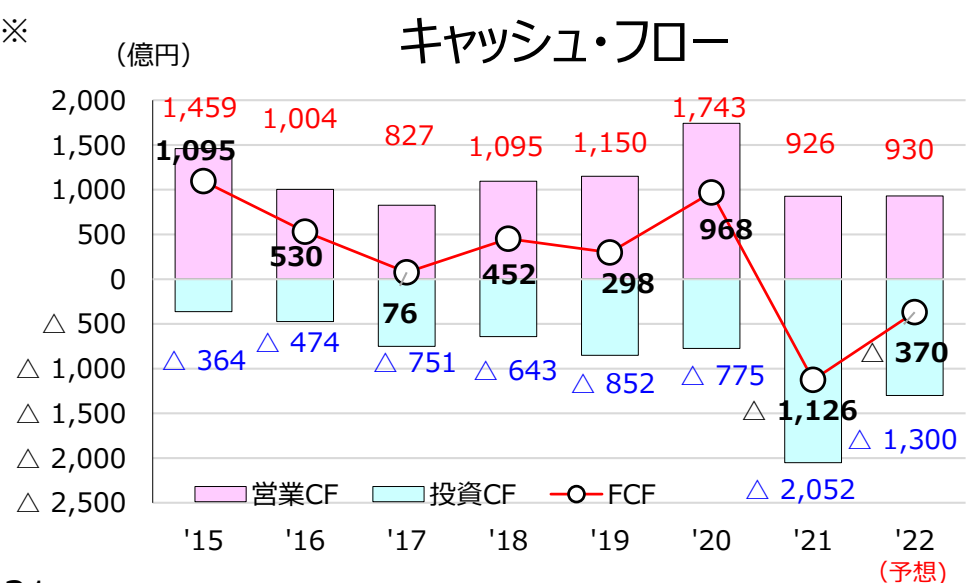
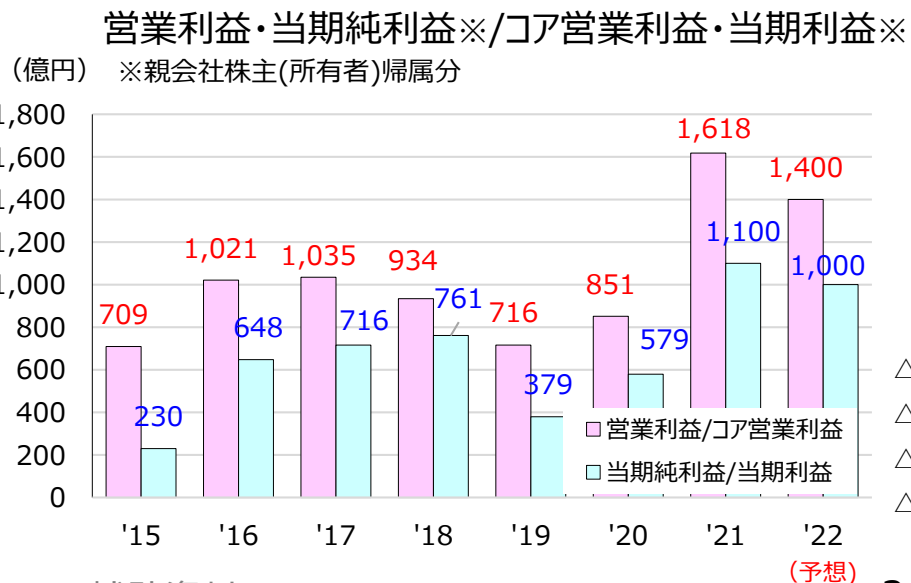
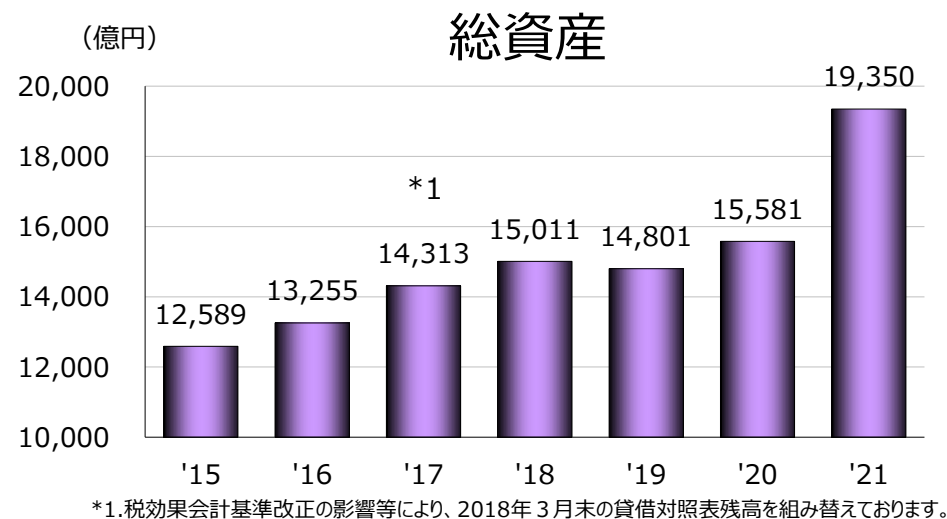
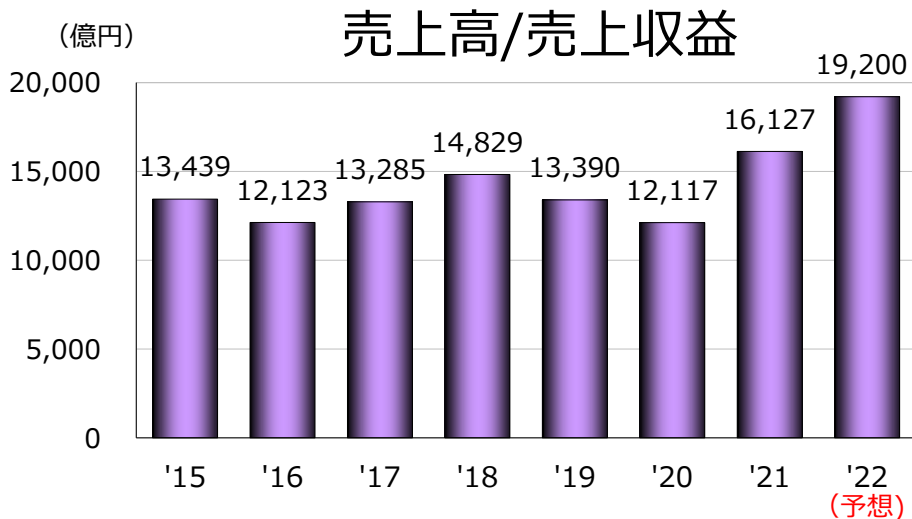
セグメント	売上収益											
	19年度				20年度				21年度			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	436	443	452	549	383	467	499	572	523	505	561	663
モビリティソリューション	1,000	1,009	958	950	591	777	933	993	1,009	985	1,120	1,213
ICTソリューション	459	453	471	452	437	419	475	474	506	511	536	518
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	1,516	1,412	1,357	1,460	1,111	1,135	1,276	1,480	1,633	1,712	1,971	2,055
その他	39	20	28	31	23	27	21	24	35	16	28	27
合計	3,450	3,337	3,266	3,442	2,545	2,825	3,204	3,543	3,706	3,729	4,216	4,476

(単位：億円)

セグメント	コア営業利益											
	19年度				20年度				21年度			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	31	24	28	65	14	71	75	71	63	53	64	66
モビリティソリューション	101	94	87	74	△ 15	35	91	67	95	66	75	90
ICTソリューション	42	45	51	36	62	50	73	68	92	74	83	49
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	76	△ 12	45	△ 19	△ 56	15	93	147	269	225	178	102
その他	△ 5	1	△ 9	△ 32	1	9	4	△ 24	0	6	0	△ 32
合計	245	152	202	124	6	180	336	329	519	424	400	275

7-1) データハイライト

注) ~19年度：日本基準 / 20年度～：IFRS

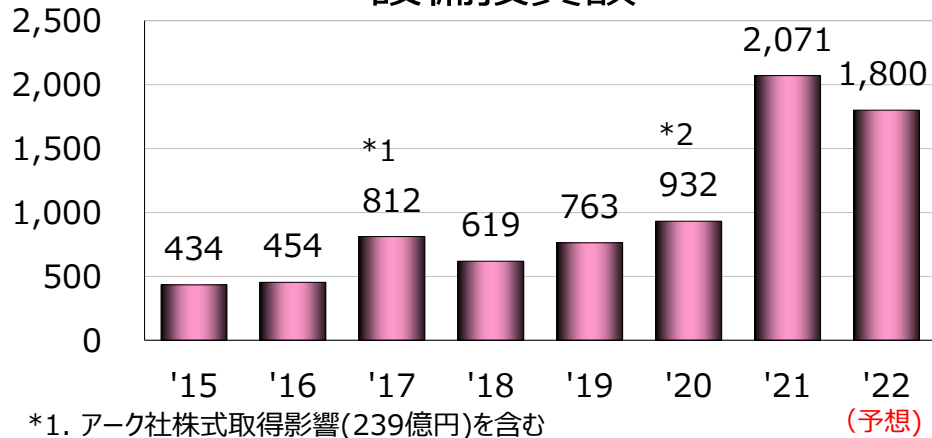


7-2) データハイライト

注) ~19年度：日本基準 / 20年度～：IFRS

(億円)

設備投資額

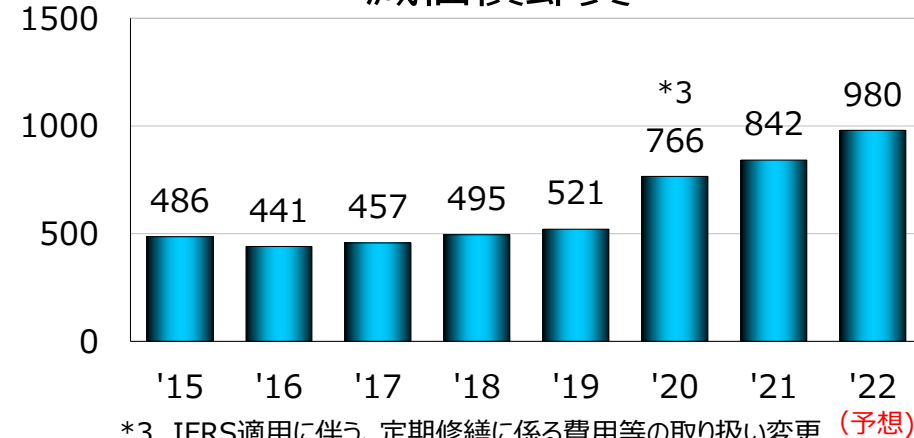


*1. アーク株式会社取得影響(239億円)を含む

*2. IFRS適用に伴う、定期修繕に係る費用等の取り扱い変更影響(設備投資額増加)を含む

(億円)

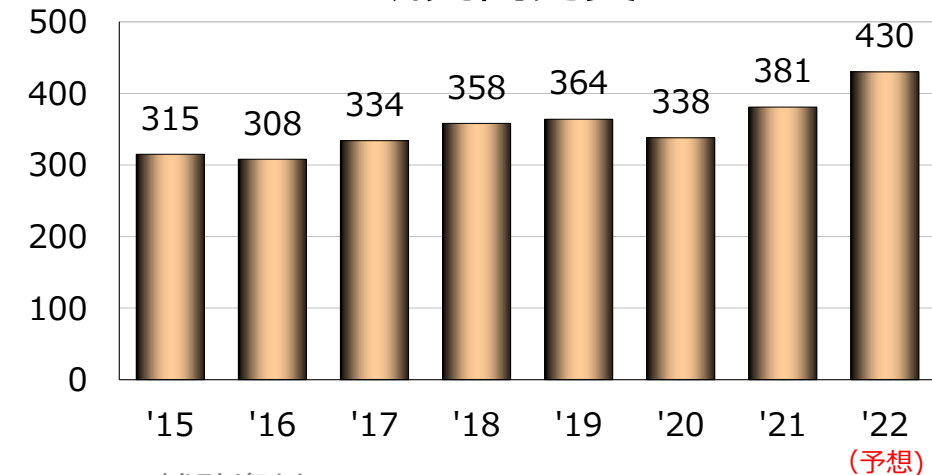
減価償却費



*3. IFRS適用に伴う、定期修繕に係る費用等の取り扱い変更影響(減価償却費増加)を含む

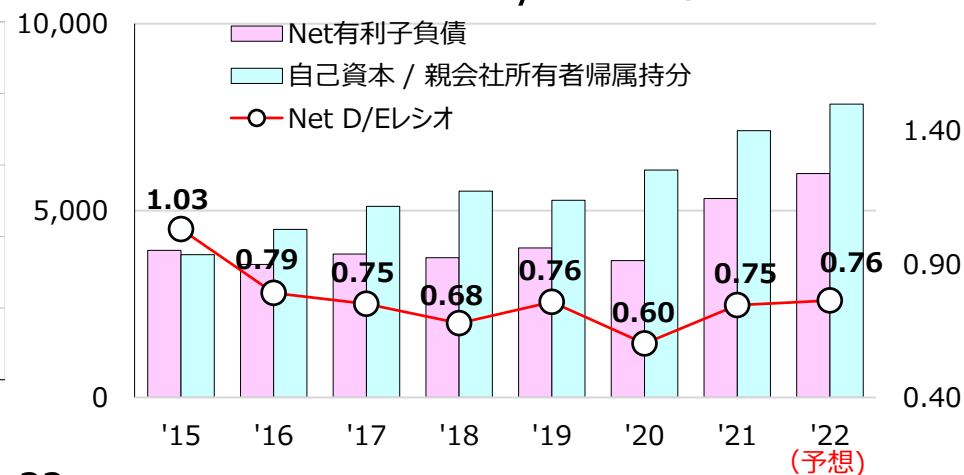
(億円)

研究開発費



(億円)

Net D/Eレシオ





Mitsui Chemicals

新たな顧客価値を創造し、事業活動を通じて、
社会課題を解決する